

個別事業名	(7)妊娠・出産支援講座
事業の趣旨・目的	<p>○男女とも、年齢が上昇するに従い、妊娠・出産の可能性は低くなる反面、リスクは高まる。全国的に晩婚化が進行する中で、本県の平均初婚年齢は男性30.6歳、女性29.3歳（H25女性全国8位）と高く、2000年の男性27.6歳、女性26.7歳から上昇している。</p> <p>○また、母親の年齢が高齢になるに従い、妊娠や分娩異常の発生率が高くなるが、本県では、35歳以上の産婦が20%を超えるという状況であり、独自の医療対策、予防対策に取り組んでいる。</p> <p>○こうした様々な課題に対応し、女性だけでなく、男性も含めての妊娠・出産というライフステージをより安全に過ごすため、思春期からの生涯を通じた性と生殖に関する健康の正しい情報を知ったうえで、身体的・精神的・社会的な健康を維持し、子どもを産むかどうか、いつ産むかなどについて選択し、決定することができることが重要である。</p> <p>○このため、生徒・学生を担当する養護教諭、地域で活動している保健師などを対象に研修会を行い、学校や地域での日々の相談対応や講座開催などに活かしていただく。</p> <p>○また、35歳以上の産婦が20%を超えている現状を踏まえ、妊娠・出産についての講座と併せて、不安を解消する相談の場を設ける。</p> <p>&lt;H25県民世論調査結果&gt; 「安心して妊娠・出産できる環境づくりのために行政が取り組みを強化することが効果的だと思うこと」に対して、「妊娠・出産に関する基礎知識の普及・思春期からの広報・研修など」約1割の方が掲げている。</p>
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 妊活研修会（産婦人科医師、助産師などによる講演） <ul style="list-style-type: none"> <li>・会場：高知市（1回）</li> <li>・時間：2～3時間</li> <li>・募集人数：100人以上</li> <li>・募集対象者：助産師、保健師、看護師、養護教諭、既婚の男女、結婚を希望する独身男女</li> </ul> </li> <li>2 自主的に実施する妊活講座への「HUMAN+」の購入・配布 研修会に参加した有資格者が、地域や学校で自主的に講座を実施するための講座資料として活用する場合に必要な部数を配布する</li> <li>3 妊活講座・相談会（応援コーナー助産師による講座・相談コーナー設置） <ul style="list-style-type: none"> <li>・会場：高知市（3回）、安芸市（1回）、須崎市（1回）、四万十市（1回）</li> <li>・時間：3～4時間</li> <li>・募集人数：各回40人</li> <li>・募集対象者：既婚の男女、結婚を希望する独身男女</li> </ul> </li> </ol>
先駆性	<p>本県の女性の平均初婚年齢は全国と比較しても高く、35歳以上の産婦が2割を超える中で、妊娠・出産を取り巻く状況を見ると、全国よりも低出生体重児や早産の割合が高く、周産期死亡率や乳児死亡率が全国水準を上回っていることなど、本県独自の様々な課題がある。</p> <p>こうした課題に対応する講座の開催とともに、本県独自の取組である高知家の出会い・結婚・子育て応援コーナーと連携し、妊娠に関する相談などに対応することで、切れ目ない支援につなげていくことができる。</p> <p>また、少人数での妊活講座や専門職による相談会の開催は、（市町村と連携して婚姻届の提出のあった既婚者等に対して講座の周知を行う）、30後半の出産に対する不安を持った夫婦や結婚を考えている独身者等に対する（不妊相談等へ行く前段階としての）妊娠や出産に対する不安解消や相談を行う場を提供する取組である。</p> <p>併せて、学校や市町村における人材育成及び自主的な講座の開催を支援していく取り組みは、地域における新たな事業であるとともに、先駆性をもった取り組みである。</p>
所要見込額	4,236 千円